

報道関係者各位

## 国内最大の国際海事展「Sea Japan 2024」

### ～過去最大規模での開催へ～

**約 30 の国と地域から世界の海事関連企業・団体が一堂に集結！**

国内最大の国際海事展「Sea Japan 2024」の開催日が決定。今回は、大型商船・貨物船のための船用機器・技術展示に加えて、新たにオフショア・港湾技術展も併設されることが決定した。

#### 【開催概要】

名称：Sea Japan 2024

併催展：Offshore Tech 2024

会期：2024年4月10日（水）～4月12日（金） 10:00～17:00

会場：東京ビッグサイト 東1・2・3ホール

主催：インフォーマ マーケッツ ジャパン株式会社

後援（前回実績）：国土交通省、一般社団法人日本船主協会、日本内航海運組合総連合会、一般社団法人日本造船工業会、一般社団法人日本中小型造船工業会、日本船舶輸出組合、一般社団法人日本海運集会所、一般社団法人日本船用工業会、日本貿易振興機構（ジェトロ）

### Sea Japan 2024 のテーマ - 次なる原動力は？ -

現在海事業界では、カーボンニュートラルに向けて、船舶を運行するための新たなエネルギー源が注目されている。「水素」「アンモニア」「液化天然ガス（LNG）」「電気」をはじめとしたクリーンエネルギーのうち、どのエネルギーがこの先の海事産業をリードしていくのか、また実用に向けての効率化の課題をどのように解決していくのか。Sea Japan 2024 では、これらのクリーンエネルギーにフォーカスし、展示製品へのスポットライトやセミナーを構成する。それと同時に、DX や人材育成など業界全体のニーズに沿った最新技術や情報も引き続き包括し、船舶技術の新たな発展を促進する。

### Sea Japan 2024 での 2 大ポイント

#### 1. 過去最大規模での開催



2022年4月、4年ぶりの開催となったSea Japan。コロナ禍での開催であったにも関わらず、350社の出展社、18,000名を超える来場者が参加し、大きな盛り上がりを見せた。展示会場では商談が活発に行われ、「製品を直接見てもらい、その上で対面での商談ができたことで、オンラインでは伝えられない情報や来場者が今感じている課題を吸い上げることができた。今後のビジネス拡大には、リアル展示会は不可欠である」というリアル展示会の重要性についてのコメントが多く寄せられた。

しかし、Sea Japanの大きな特徴である海外からの出展社や来場者の参加に関しては、2022年4月時点で渡航制限により、一部を除き参加ができない状況であった。しかし、アフターコロナでの開催となる次回は、Sea Japan 2022に参加が叶わなかったドイツ・オランダ・中国・韓国などの海外パビリオンや海外企業から、すでに出展の問い合わせが殺到しており、2024年4月には海外企業の出展が期待される。Sea Japan 2022の規模に、海外からの参加を加える形となり、Sea Japan 2018（出展社数580社・来場者数20,226名）を超える過去最大規模で開催する。

## 2. 新分野への挑戦

Sea Japan 2024では、オフショア・港湾技術にフォーカスした「Offshore Tech」を新設。洋上風力発電をはじめとした海洋再生エネルギー、メンテナンスをはじめとした作業員運搬を専門とした作業船、オイル&ガスなどの海洋開発、カーボンニュートラルポートに向けた港湾技術など、海事産業が深く関係している「海」の産業にフォーカスすることで、船舶技術を新たなビジネス展開だけでなく、今まで海事業界にはなかった他産業からの技術導入の可能性を探り、相互での業界活発化を図る。

主催者では、3月より順次出展募集を開始する。

出展に関するお問い合わせ：<https://www.informa-japan.com/sj/form/inquiry.php>

### 展 | 示 | 対 | 象 |

Sea Japan 2024（Offshore Techを含む）

造船／作業船／特殊船／船舶修理／船用工業製品（軸系及びプロペラ、係船・荷役機械、船用ボイラー、冷凍機・空調装置、発電器・電動機、公害防止機器・環境保護、塗料・塗装機器、安全設備・防火設備、ディーゼル機関及び推進装置、ディーゼル機関の部分品・付属品、配電盤・起動器・制御器、電気器具、熱交換機、油圧機器、油処理装置、空気機械、ポンプ、船用タービン、弁・管継手、計器類、船用燃料・潤滑油、操舵・操船装置、錨・錨鎖・ロープ、居住設備、航海計器・通信機器・電波計器、コンピューターシステム及びソフトウェア）／水素・アンモニア燃料など新エネルギー関連技術／再生可能エネルギー発電設備／装置／海洋構造物／部品／石油・ガスE&P／エネルギー貯蔵・輸送・供給設備／掘削機械・サービス／荷役・輸送機械／システム港湾局・港湾管理者／港湾設備・港湾サービス／荷役・輸送機械／離



着岸技術・装置／係留・位置決め・アンカー／ポンプ・クレーン・吊り金具／コンプレッサー／海底採掘技術／通信機器／ロボット・ドローン／ソフトウェア／セキュリティ／安全設備／調査／コンサルティング／人材育成／気象サービス／金融サービス／シップエージェンシー／船用組織・団体／船級協会／商社／出版・情報／他海事製品・サービス全般

その他詳細および出展に関する情報は、オフィシャルウェブサイトへ。

オフィシャルウェブサイト：[www.seajapan.ne.jp](http://www.seajapan.ne.jp)

<本件に関するお問い合わせ先>

Sea Japan 運営事務局

(インフォーマ マーケッツ ジャパン株式会社)

担当：平原・橋本

TEL：03-5296-1020

Email：[info@seajapan.ne.jp](mailto:info@seajapan.ne.jp)